

FUKAYA News Release

市長定例記者会見次第

令和5年12月20日(水)
午前10時30分～

1. あいさつ

2. 発表内容

ページ

- | | |
|------------------------------------|---|
| (1) 【深谷市独自の3段階調査をもとに教育と福祉との強いスクラム】 | 1 |
| ヤングケアラー実態調査(第3弾) | |
| (2) 【『ネギーチャレンジ』第2弾実施決定】 | 3 |
| ふるさと納税の寄附額アップにチャレンジ! | |

次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：令和6年1月30日(火) 午前10時30分～11時30分

深谷市独自の3段階調査をもとに教育と福祉との強いスクラム ヤングケアラー実態調査（第3弾）

■趣旨

深谷市ではヤングケアラーの実態を把握するために、令和3年度、令和4年度に続き、令和5年度も深谷市独自の3段階調査（第1段階：アンケート調査・第2段階：アセスメントシート・第3段階：個別の聞き取り調査）を実施しました。また、その結果を関係各課所などが共有して、支援の方法を検討し、教育と福祉が一体となって支援までつなげるよう取り組んでいます。

今後も引き続き、教育と福祉が強いスクラムを組み、一体となってヤングケアラー支援を進めてまいります。

■調査対象

小学校6年生 1,190人（回答率94.2%→1,121人）

中学校1年生 1,119人（回答率90.0%→1,006人）

■主な調査項目

世話の有無・状況・影響、負担の有無、希望するサポートなど

■調査方法

・第1段階

→質問項目を厳選し、答え易さに配慮したアンケート調査
小6(1,121人)、中1(1,006人)

・第2段階

→教員による評価シートを用いた個別のチェック
小6(182人)、中1(105人)

・第3段階

→1・2段階を踏まえた児童・生徒へ直接の聞き取り調査
小6(89人)、中1(47人)

■調査結果

学校によるきめ細かな3段階調査を行った結果『ヤングケアラーの可能性が高い児童・生徒』が明らかになりました。

小6(8人・0.7%)、中1(5人・0.5%)

■関係各課所等との協議の開催

○実施日：令和5年11月6日

○協議の内容（論点）

- ・アンケート調査結果、個別の聞き取り調査結果の確認（13人）
- ・13人に係る学校や各課からの情報共有
- ・家庭や生徒へのアプローチ・支援方策等の検討

○協議の結果

緊急性が高いと判断した3人の児童・生徒について状況の確認や支援の方法を検討し、状況に応じてスクールソーシャルワーカーが関わり福祉的な支援に結びつけていくことなど、具体的な支援がスタートしました。



令和5年度 深谷市独自の3段階調査（第3弾） ～教育と福祉との強いスクラム～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



深谷市独自の3段階調査

小6・1121人（回答率94%）
中1・1006人（回答率90%）

第1段階 アンケート調査の実施

- 市内公立小中学校29校
小学校6年生・中学校1年生を対象（中学校2・3年生は令和3、4年度実施済）
- 令和5年7月14日（金）～19日（水）に、一人一台タブレットからFormsによるアンケートへの回答
- 学校や家庭での生活の状況、家族の世話の有無、など

第1段階の
結果を踏まえて

小6・182人
中1・105人をチェック

第2段階 担任によるチェック(アセスメントシート)

担任が、アンケート調査の結果を受けて、気になる生徒の学校生活の様子等を評価シートを用いて個別にチェック

第1・2段階の
結果を踏まえて

小6・89人
中1・47人に実施

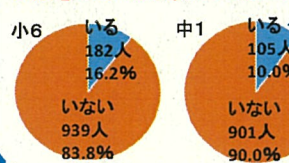
第3段階 個別の聞き取り調査

（担任、部活動の顧問・スクールカウンセラー等）

本人が行っている具体的なケアの状況
本人が抱えている悩みや不安など、
児童・生徒の気持ちに寄り添った直接の聞き取り調査

第1段階 分析結果

世話をしている家族がいるか？



- 世話をしている頻度は「ほぼ毎日」が小6が74人、中1が34人【複数回答】
- 「世話をすることに負担がある生徒」は小6が85人、中1が29人
- 「やりたいことができない生徒」は小6が61人、中1が26人
- 学校や周りの大人に助けてほしい生徒は小6が85人、中1が40人

第2・3段階 分析結果

- 幼いきょうだいに料理を毎日つくるなど、家事をほとんど行っている。
- 祖父母や母に障害があり、身体的な介護を行っている。
- 障害のあるきょうだいのお世話をしている。

ヤングケアラーの可能性が高い児童・生徒
小6・8人(0.7%)中1・5人(0.5%)

強いスクラム！

関係7課所等による協議により支援へ

■問い合わせ先

深谷市教育委員会 学校教育課（担当：松島）

☎電話 048 - 572 - 9578

『ネギーチャレンジ』第2弾実施決定

ふるさと納税の寄附額アップにチャレンジ！

■概要

8月に実施したネギーチャレンジ第1弾『選挙の投票率アップ大作戦！！』に続き、第2弾『あなたが深谷の広報大使！特産物PRでふるさと納税額アップ大作戦！！』を実施します。

今回、市民の皆さんには、本市への個人版ふるさと納税の寄附額増加を目指す広報活動にチャレンジしていただきます。

皆さんの協力により、ふるさと納税の寄附額が目標順位・目標寄附額に達した場合は、地域通貨ネギーのポイントバック率をアップして還元します。

本事業を通して、本市のふるさと納税寄附金の制度や用途を知り、学び、発信することで、市の政策に興味を持っていただき、地域の課題解決を目的とするネギーチャレンジへ、今後も積極的に参加していただくことを目指しています。

■キャンペーン内容

令和5年度のふるさと納税寄附額 県内順位1位を目指し、チャレンジ成功の場合にポイントバック率を引き上げます。

- ・順位が1位の場合：還元率10%
- ・順位が2位かつ寄附額の合計が10億円を超えた場合：還元率5%
(※12月中の寄附額の状況で目標金額が変動する場合あり)
- ・チャレンジへ参加したかたの中から抽選で、30人に地域通貨ネギー1,000negiを贈呈

■チャレンジ期間（本市へのふるさと納税寄附広報期間）

令和6年1月1日（祝）～3月31日（日）

■ポイントバックキャンペーン期間（チャレンジ達成した場合）

令和6年6月上旬を予定

■問い合わせ先

深谷市役所産業振興部 産業ブランド推進室 ☎048-577-3819